

教育と文化

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No. 230

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

人権標語を募集します

人権・同和問題に対する市民の皆さんの認識を深め、差別のないまちづくりを目指して、人権標語を募集します。

●対象者 市民なら誰でも応募できます。

●テーマ 人権社会の実現を呼びかけるもの

●応募用紙 特に決まりはありません。標語・氏名・住所・生年月日・電話番号を明記してください。

※市のホームページからダウンロードすることもできます。

●応募点数 1人2点まで

※作品は未発表のものに限ります。

●応募方法 直接持参、郵送、ファックス、メールのいずれかで応募してください。

●募集期限 10月31日(火)

●応募・問合せ

〒848-8501

立花町1355番地1

生涯学習課人権・同和教育係

☎033186

FAX 02615

※メールアドレス

shougaiagakushuu@city.

imari.lg.jp

広報伊万里8月号6ページの『Q & A 身元調査は差別なのですか?』の中で、誤解を招く表現がありましたので、次のとおり修正します。
なお、ホームページの8月号は修正しています。

(修正前)

近年では、行政書士などが職務上の権限を悪用して戸籍謄本や住民票の写しを不正取得し、調査会社などに販売する事件も起きています。

(修正後)

近年では、一部の人が、有資格者の職務権限を悪用して戸籍謄本や住民票の写しを不正取得し、調査会社などに販売する事件も起きています。

※有資格者とは、弁護士、司法書士、行政書士、土地家屋調査士、税理士、弁理士、社会保険労務士、海事代理士の8つの業種のことです。

郷土の文化財

伊万里湾の歴史シリーズ②

●問合先 生涯学習課文化財係 ☎033186

夏崎古墳

ヤマト政権勢力圏の水際

今回は、東山代町日尾に所在する夏崎古墳を紹介いたします。5世紀後半の中頃に作られた円形の古墳で、伊万里川と有田川の河口に向かつて西から突き出た台地上に築造されていました。内部には、当時の最先端技術を用いた甲冑(かぶつち)などが副葬品として収められ、被葬者がヤマト政権とつながりを持つ高位の武人であったことを示しています。

古墳時代の、伊万里を含む玄海灘沿岸地域は、ヤマト政権の大陸進出の前線基地だったと考えられています。伊万里湾はその勢力圏の西端部で、他の地方豪族からころうした地域を守るための警備拠点であり、夏崎古墳の被葬者は拠点警備の任務を負ったヤマト政権の重要人物だったと考えられます。

このように、伊万里湾は日本史上において、古くから海上交通や軍事の面で重要な地域だったと考えられています。

しかし、江戸時代に行われた干拓工事の際に、古墳の墳丘の土は埋め立て土として利用されてしまい、石室がむき出しの状態になってしまいました。このとき、内部に収められていた副葬品の一部は石室から運び出され、大切に保管されています。そのため、現在まで残されています。



有田川と伊万里川の河口に突き出た夏崎古墳